

- 開館時間 9:00~17:15 (入館は16:45まで)
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日はその翌日), 年末年始(12月28日~1月4日)
 - ◆プラネタリウム臨時休演 5月29日(火)~30日(水), 10月2日(火)~3日(水), 10月16日(火)~18日(木)
 - ◆全天周映画臨時休演 5月29日(火)~30日(水), 10月2日(火)~3日(水)

●入場料

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)
科学展示室	おとな	400円
	こども (小・中学生, 高校生)	100円
プラネタリウム	おとな	400円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円
全天周映画	おとな	400円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円
	こども (小・中学生, 高校生)	300円

※幼児は無料(ただし大人の保護者同伴のこと)

【宇宙劇場】

ドーム直径21m, 床傾斜25度, 210座席。
プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ,
中国地方でも最大級の科学シアターです。



●宇宙劇場投映開始時刻

曜日/時刻	10:30	11:40	12:50	14:00	15:10	16:20
土・日・祝 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム
火~金	学習投映(団体予約優先) 10:00, 11:10, 13:10			全天周映画	プラネタリウム	

- ◆定員210名, 各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
- ◆学習投映は(学校)団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は, あらかじめお電話にてご予約ください。

ACCESS

- ◆J R 倉敷駅からタクシー 25分
- ◆J R 倉敷駅からバス 25分
 - 下電バス
 - ・『大高経由 J R 児島駅行』
福田中学校前下車・徒歩20分
- ◆国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ◆瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分
(広江一丁目交差点を右折後, 最初の信号を右折)

倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>



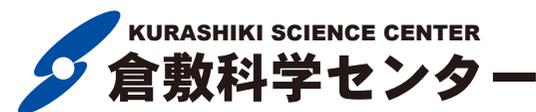
宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題 (今夜の星空解説含む)

ジャーニー・トゥ・スターズ

Vol.57 2012. 5. 25 ~ 2012. 10. 14



「今夜の星空」の解説

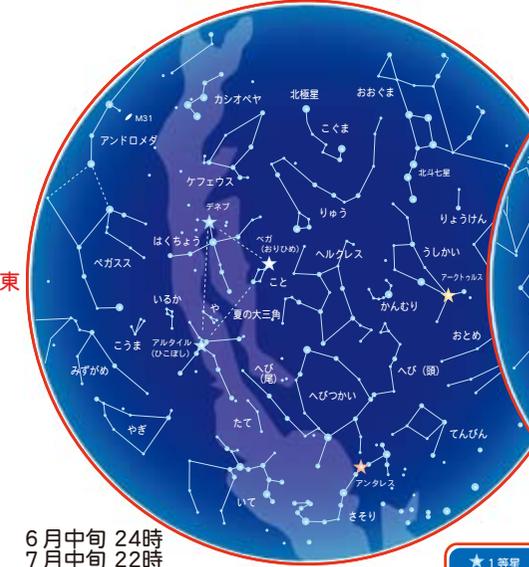
天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より

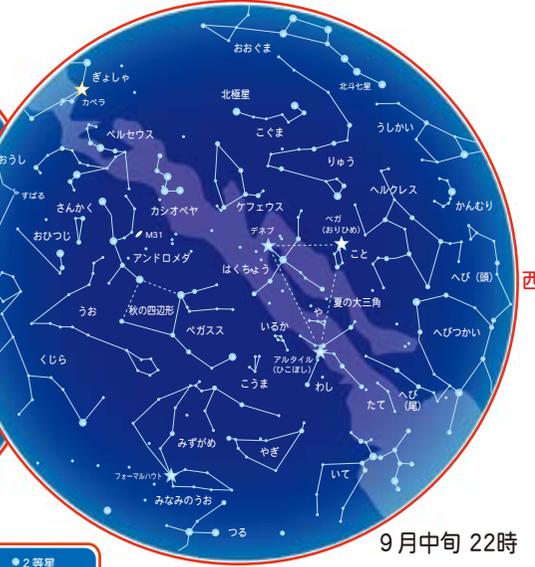


6-8月の星空



6月中旬 24時
7月中旬 22時
8月中旬 20時

9-10月の星空



9月中旬 22時
10月中旬 20時

★ 1等星 ● 2等星
● 3等星 ● 4等星以下

観測ガイド

- 6月 4日 = 部分月食が全国で見られる。20時03分ごろ、月が38%欠ける。
- 6月 6日 = 金星の太陽面通過。始まり7時10分、終わり13時47分。次は105年後。
- 8月12日夜中~13日明け方 = ベルセウス座流星群が極大。
- 8月14日明け方 = 金星食。(金星が月にかくされる)
- 9月30日 = 中秋の名月。(旧暦8月15日)

月の満ち欠け

5/29 6/4 6/11 6/20 6/27 7/4 7/11 7/19 7/26 8/2 8/10 8/18 8/24 8/31 9/8 9/16 9/23 9/30 10/8 10/15



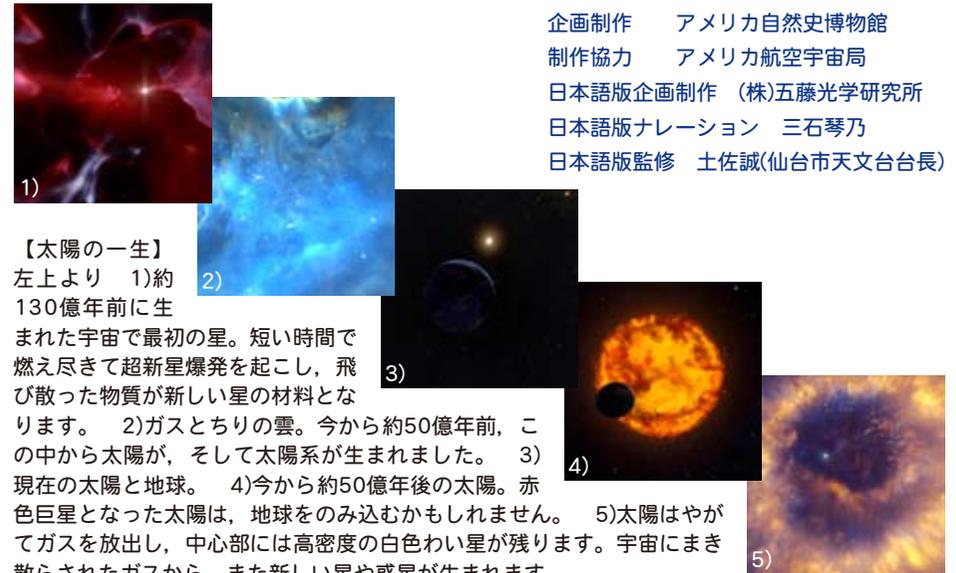
ジャーニー・トゥ・スターズ

上映期間 / 5月25日(金)~10月14日(日)

恒星をめぐると、それは星々の一生や宇宙の歴史をめぐるとなる。130億年前、はじめての恒星が宇宙にあらわれ、はじめての超新星爆発がおこりました。このとき放出された物質が、現在の恒星やわたしたちの体をつくるみなもととなったのです。身近な存在である太陽も、じつは恒星のひとつ。およそ50億年前に誕生した太陽は、およそ50億年後にはガスをはげしく放出して燃えつきる運命にあります。今まさに恒星が生まれている場所もあれば、恒星が一生を終えた名ごりもあります。

多様な姿を見せる恒星の世界へ— 今、旅立ちの時です。

企画制作 アメリカ自然史博物館
 制作協力 アメリカ航空宇宙局
 日本語版企画制作 (株)五藤光学研究所
 日本語版ナレーション 三石琴乃
 日本語版監修 土佐誠(仙台市天文台台長)



【太陽の一生】
 左上より 1)約130億年前に生まれた宇宙で最初の星。短い時間で燃え尽きて超新星爆発を起こし、飛び散った物質が新しい星の材料となります。 2)ガスとちりの雲。今から約50億年前、この中から太陽が、そして太陽系が生まれました。 3)現在の太陽と地球。 4)今から約50億年後の太陽。赤色巨星となった太陽は、地球をのみ込むかもしれません。 5)太陽はやがてガスを放出し、中心部には高密度の白色わい星が残ります。宇宙にまき散らされたガスから、また新しい星や惑星が生まれます。

©AMNH/NASA

次回のプラネタリウム新番組は 10/19(金) よりスタートです。